

常滑市内の重点区域候補海岸の状況について

1. 常滑市の海岸

19.8 キロメートルにわたる南北に長い海岸線を有する（空港島除く）。

（観光）海水浴場、潮干狩り

（自然）ハマヒルガオなどの海浜植物の群生、ウミガメの産卵

（産業）漁業、海苔養殖

2. 市民ボランティアの清掃活動

とこなめ街美化ボランティア（アダプトプログラム）の登録団体が清掃活動を行っている。海岸清掃については、平成 24 年度末時点で 23 団体が登録している。

3. 市職員ボランティアの清掃活動

海岸漂着物が原因となった火災が、同じ場所で毎年 2 件程度発生していたため、消防職員を含む市職員による清掃活動を行った。流木や缶など約 850kg のごみを回収した。

4. 海岸漂着物による問題

① 野焼きの苦情

台風により漂着した多くのごみ（流木など）を周辺住民等が焼却処分しようとするため、野焼きの煙で多くの苦情が寄せられる。

② 海岸漂着物の処分

長い木や大量の枝など、市民ボランティアによる清掃では回収しづらいものが多いため、業者委託による回収・処分が必要となる。

（平成 24 年度に業者委託により収集した海岸漂着物の量）

海岸名	収集量
大野漁港	50 m ³
鬼崎漁港	100 m ³
常滑漁港（多屋地区）	60 m ³
常滑漁港（りんくう町地区）	56 m ³
常滑漁港（大谷地区）	48 m ³
常滑漁港（坂井地区）	24 m ³

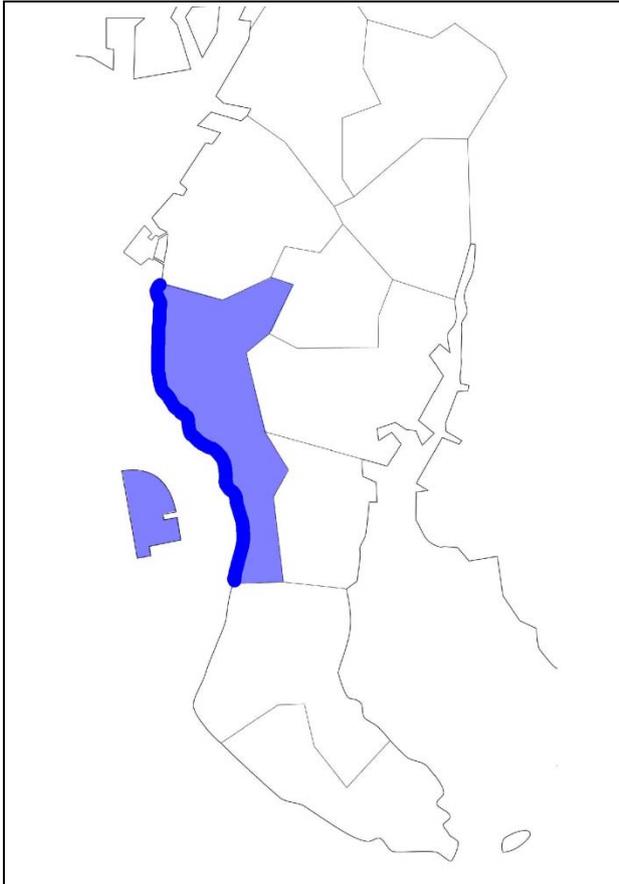


図1 常滑市の地図



写真1 大野海水浴場



写真2 ハマヒルガオの群生



写真3 海岸漂着物の火災



写真4 海岸漂着物の野焼き



写真5 堆積した海岸漂着物①



写真6 堆積した海岸漂着物②